



私の仕えるお方は
吸血鬼の少女だ

幼くして吸血鬼に
なられたお方で
無邪気でとても可愛らしい

ね…

お腹すいた

はい

すこし

頂戴？

どうぞお飲みください
ご主人様

長い時を生きるお方で
退屈を紛らわすため

しゅろっ

えへへ

今日はね…

様々なことに
興味を持たれるが
最近…

ご主人様？

！

ちよつと
えっちなこと

しながら吸血
してみたいなって…

へっ…

よろしいのですか？

うん

いけないことにも
興味を持たれた様子…

じゃあ

いくね？

ご主人様の肌が直に…
暖かくて柔らかい

ん…

ちゅっ

ただでさえドキドキする
吸血がより…



ダメ…

んちゃう…

ん…

吸血の甘い痛みと
快感でおかしくなりそう

あっ

んん…!



んむう…

くっ

ん…

お嬢様と一つに
なっている感覚…

んああ…

ちゅる…



ご主人様…
もっと…

あつ
そこ…
だめ…

私にはもったいないくらい
幸せなひとときだ…

えへへ
いいよ…?

もっとご主人様と
一つになりたいです…

ちゅっ







